

あいちICT教育通信

GIGA スクール構想推進協議会

愛知県教育委員会 ICT教育推進課

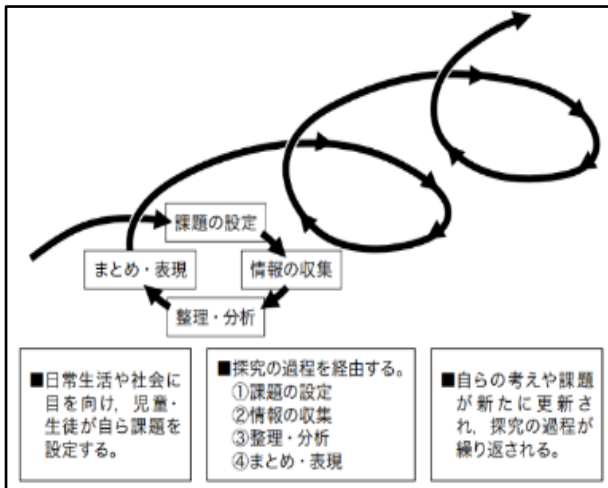
GIGA スクール構想の推進に伴い、1人1台端末が整備され、一人一人の子供を主語にする、学習者主体の授業へ学び方が変わりつつあります。この通信は、市町村立学校の新たな学びの姿を学校や先生方にレポートすることで、先生方のICT活用指導力を高め、タブレット端末の活用を推進することを目的にしています。Vol.4は『今日から始める学校生活のICT化』です。使うことを苦手と考えている先生、使おうと思っているが活用方法に不安を抱えている先生にも分かりやすい内容となっています。ぜひ、多くの先生が学校生活のICT化を進めていき、新しい学びをデザインする教員への一歩目を踏み出していただければと思います。

なぜ、1人1台端末を活用するのか？

令和の日本型学校教育で目指すものは、「**全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現**」であり、児童生徒が『**自立した学習者**』になれるよう、新しい学びをデザインすることが求められています。変化の激しい時代に対応する自立した学習者を育てるために、物事を自分事としてとらえ、自ら問いを立てて情報を集め、考え、行動するという**探究的な学習**に、**1人1台端末の活用が不可欠**といわれています。



探究的な学習のサイクル

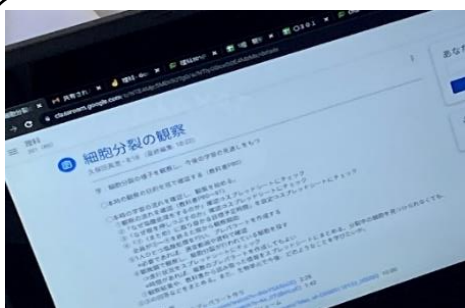


課題の設定	課題を設定し、課題意識をもつ
情報の収集	必要な情報を取り出したり、収集したりする
整理・分析	収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
まとめ・表現	気づき・発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

今回の通信では『**課題の設定**』時のICT活用例を紹介しします。次号以降で情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の時のICT活用例を紹介していく予定です。

課題の設定をするときに使うICT活用実践事例

ここでは、実践事例を紹介しします。下記の二次元コードを読み取り、動画をご覧ください。



授業の見通し（計画）をコミュニケーションソフトに投稿する実践（春日井市立出川小学校）

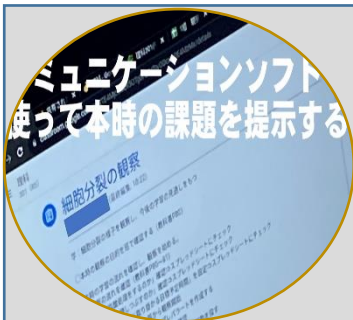
出典：文部科学省/mextchannel 1人1台端末で学校が変わる！
【中学校編】<https://youtu.be/Tb7ioQRr53Q>



表計算ソフトを活用した振り返りから課題を設定する実践（春日井市立高森台中学校）

出典：文部科学省/mextchannel 1人1台端末で学校が変わる！
【小学校編】<https://youtu.be/sXsqAIUEpTU>

課題の設定をするときに使うICTの活用方法



□単元の見通し（計画）をコミュニケーションソフトに投稿する

【活用ソフト】 Microsoft Teams
Google Classroom

タブレット端末活用の一歩目に最適です。
苦手意識のある先生こそ、やってみてください。



□表計算ソフトを活用した振り返りから課題を設定する

【活用ソフト】 Microsoft Teams Excel
Google Classroom スプレッドシート

クラウドを活用して、児童生徒の意見を集約します。
表計算ソフトの新しい可能性に出会うことができます。

文部科学省:StuDX style(<https://www.mext.go.jp/studxstyle/>) YouTube(文部科学省/mextchannel)
文部科学省:働き方改革事例集(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/hatarakikata/mext_00008.html)
などを参照いただき、ICTの活用を広げていただければと思います。

授業でICTを活用する前に！！

いきなり授業で活用することが心配な先生は、以下の使い方をやってみましょう。
もしわからないことがあれば、右の二次元コードから操作方法を見てみましょう。

- コミュニケーションアプリを使って職員同士で会話してみよう
- コミュニケーションアプリに授業の板書やタブレット端末活用の様子を投稿してみよう
- コミュニケーションアプリから必要な資料をダウンロードしてみよう
- コミュニケーションアプリに指導案や行事等の資料を載せて、共同編集してみよう



1人1台端末(クラウド)を活用するメリットとは？

クラウドを活用できると多くの人と瞬時に情報共有ができます。(画像や動画も添付できます。)クラウドという仮想空間に情報を置き、そこにある情報をログインした人が見ることができます。職員室にあるホワイトボードや黒板に情報を書き、職員室に入ってきた人が情報を見ることができるようイメージです。職員室のホワイトボードや黒板では、そこに行かないと情報を見ることができません。しかし、クラウドでは、タブレット端末があれば、いつでもどこでも情報を見る(確認する)ことが可能です。また、必要な時に、情報を共有する(書き込む)こともできます。

もっと活用 !! ICT !!

愛知県教育委員会義務教育課が昨年度発信した『もっと活用 !! ICT !! ～ICTを授業以外でも活用し、情報活用能力を伸ばす～』のリーフレットに授業での活用方法や授業以外での活用方法が記載されています。ぜひ、右の二次元コードからご覧ください。



「あいちICT教育通信」でICT教育の推進(教育活動の紹介等)に協力していただける学校及び市町村教育委員会を随時募集しております。お問合せメールアドレス giga_school@pref.aichi.lg.jp